

「周りの支えがあつてこそ」

先日、義母と自治会活動のこと  
で話をしていた、自治会の役員が  
70歳以上のひとり暮らし世帯を、  
定期的に戸別訪問していることを  
初めて知りました。

そのとき、3年前に父がけがで  
入院したことがわたしの頭に  
浮かんできました。

慣れない入院生活に、父の精神  
的な負担が大きかったようです。  
また、付き添う母も目を追うこと  
に疲れがたまっていたようです。

そんな両親の姿  
に、いままで、わ  
たしには関係がな  
いと思つていた  
「介護」という問  
題が、にわかに現  
実味を帯びてきま  
した。

退院後母は「お  
父さんの世話も大  
変だったけど、そ  
れ以上にお父さん  
は、先の見えない入院生活でずい  
ぶん不安だったと思うわ。そんな  
とき、看護師さんが励ましの言葉  
をかけてくれたり、やさしく接し  
てくれたりしたことがとてもうれ  
しかったなあ。それに、近所の人  
も、入院中はもちろん、退院して  
からも、いつも声をかけてくれる  
のでありがたいと思つている」と  
再三、話していました。

わたしたちは両親の日々の生活は、  
地域の人々の支えがあればこそ」と  
と感謝すると同時に、「離れて暮  
らす両親の生活を、どう支援して



いけばよいかを考える時が訪れた  
のだ」と実感したことを、自治会  
の取組みを知り、思い出したので  
す。

65歳以上の高齢者が総人口に占  
める割合が22%を超え(2009  
年)、「超高齢社会」と言われる  
現代社会において、高齢者だけの

家庭やひとり暮  
らしの高齢者が、  
今後、ますます  
増えていきます。

「就業」「健康」「医  
療」「介護」など、  
高齢者を取り巻  
く状況がいま以  
上に厳しいもの  
になることが予  
想されます。い  
つかはだれもが

高齢者となる日がやってくること  
を考えると、この問題は決して他  
人事ではありません。

そんな中、わたしたちに取り組  
めることは、家庭内はもちろん、  
地域において、高齢者の孤立を防  
ぎ、つながりを持ち、支えていく  
ことではないでしょうか。

83歳の両親と離れて暮らし、日  
ごろ、高齢者と接する機会が少な  
いわたしですが、地域の一員とし  
て自治会活動などに参加して、ま  
ずは高齢者とのつながりを持つこ  
とから始めてみようと思ひます。



～人権尊重をくらしのなか～  
ご意見・ご感想は人権啓発室(☎63・7599)へ

NABARI ストリートフェスタ  
まちを盛り上げる若者達



「NABARI ストリートフェスタ」が11月  
27日、市内のショッピングセンター駐車場  
で開催されました。主催したのは、20～30歳  
代のメンバーで構成する市民グループ「ホッ  
トポイズン」。BMXと呼ばれる自転車を軽快  
に乗りこなし、熱の入ったバンド演奏や  
ダンスなどで会場を盛り上げました。

また、市内の高校生と市長による公開座談  
会もあり、高校生からは「シャッター街が寂  
しい」「自然を生かしたまちづくりを」「危険な交  
差点がある」などの意見が出  
されました。

名張バイオマスフォーラム  
バイオマスの利活用を進めよう

市では、「名張市バイオマスタウン構想」に  
基づき、豊かな自然やわたしたちの生活から  
排出される廃棄物などを「バイオマス資源」  
として利活用できるまち「バイオマスタウン」  
を目指しています。

11月27日には、市役所で「名張バイオマ  
スフォーラム」が開催されました。基調講演で、  
三重大学准教授の森久綱さんは「バイオマス  
タウンを目指していくためには、住民、企業、

皇學館大社会福祉学部卒業生  
名張への思いをカタチに



来年3月で撤退となる皇學館大学社会  
福祉学部の卒業生で組織する同窓会から、  
11月27日、名張市に車いす3台の寄贈  
を受けました。

「名張学舎の閉鎖は残念ですが、名張の  
皆さんが、わたしたちを暖かく迎え入れ  
てくれた感謝の気持ちを込めて車いすを  
贈りたい」と同窓会統括幹事の猿渡真吾  
さん。現在、北九州市でケアマネジャー  
として活躍中で、「自分の街も名張の皆  
さんのようにあたたかい気持ちが行き交  
う心のバリアフリーが息づく街にしてい  
きたい。卒業生はみんな、名張のことを  
忘れることはありません」と、あらため  
て名張への思いを語ってくれました。



行政が一体となり取り組んでいくことが必要。  
また、生ごみや家畜排泄物などのバイオマス  
を堆肥化するだけでなく、エネルギーにし  
たり、さまざまな材料にしたりして幅広く利  
活用できるようにしていく必要がある」とい  
ったことなどを訴えました。

まちの話題

名張藤堂家の子孫で女優の陽子さん  
藤堂家邸で乱歩朗読会



「乱歩 in 藤堂家邸 朗読会～夢こそま  
この世界」が、11月28日、名張藤堂家邸  
で開催されました。乱歩の代表作品「人間  
椅子」「押絵と旅する男」を朗読したのは、  
名張藤堂家の子孫であり、女優でもある藤  
堂陽子さん。会場に詰めかけた約90人が、  
乱歩作品の魅力をじっくりと味わいました。

観阿弥激動の人生をミュージカル化  
宝くじ文化公演 カンアミ伝



能楽の大成者、観阿弥の人生をミュージ  
カル化した「歌舞劇ロマン カンアミ伝」  
が、11月27日、アドバンスコープAD  
Sホールで開催されました。南北朝とい  
う激動の時代に、時代の寵児として一世を  
風靡する芸能集団を創った観阿弥・世阿弥  
親子の物語に、約500人の観衆が見入  
っていました。

1月の  
献血  
日時 平成23年1月12日(水) 午後2時～4時  
場所 リバーナ(元町)ジャスコ新名張店